

古時計が教えてくれること

皆さん、おはようございます。 【古時計を全校児童の前に置く】

今日の話の主役はこの大きな古時計です。今ちょうどブラスバンドの皆さんが「大きな古時計」の曲を毎日練習しています。ブラスバンドの皆さんが一生懸命練習している音を聞いて、この時計はきっと喜んでくれるでしょうね。



皆さん、この時計は学校のどこにあるか知っていますか？ そうです。校長室にある「掛け時計」です。実は、時計係の人がいます。6年生のH君とJ君です。【2人の児童が実際に前に出てきて時計のねじを巻く】ありがとうございました。この時計は、ねじをまわして、振り子が動くと、時計の針も動くのです。このような時計を見たことがある人いますか？

この時計は、いつ、だれが、校長室に置いたのでしょうか？ ガラス面に「昭和廿六年 卒業生 記念品」と書かれています。これは、二十六と読みます。昭和26年に卒業した6年生が、卒業記念品として学校に贈ってくださいました。今から64年前のことです。ですから、この時計は今年64歳を迎えています。皆さんのおじいさんやおばあさんと同じくらいの歳かな？

さて、昭和26年頃の本校はどんな様子だったでしょう。【昭和25年度卒業生の写真をスクリーンに映す】これは昭和25年度に本校を卒業した6年4組の皆さんの卒業写真です。その頃、本校は4組までありました。クラス的人数は男子31名、女子26名、全部で57名です。57人が、ひとつの教室で勉強をしていたのです。先生の話はしっかり聞こえたのかな？ 黒板は後ろのほうまで見えたかな？ 授業中、分からなくて困っていたとき、先生はすぐに指導に来てくれたかな？ 友だちとけんかはしなかったかな？ などいろいろと考えさせられました。

このような中でも、皆さんの先輩は、市の中心になる学校として、一生懸命、勉強したり遊んだりしていました。今、地域の人が本校の子どもたちはすばらしいと言ってくださいる伝統は、こうした大先輩の方々がつくってくれたのです。また、資料を調べていましたら、昭和26年の6月から給食が始まったと書かれていました。

【昭和26年頃の給食の様子を映す】そこには、戦争が終わった後、日本の国は食



べる物があまりなかったため、子どもたちは体が弱く、学校を休む人が多かったと書いてありました。学校にお弁当を持ってくることができなかつた人もいたそうです。ですから、学校の中に給食室をつくり、子どもたちが給食を食べて健康な体をつくり、欠席する人が少なくなるようにと

願ったのです。

あれから、64年たちました。今、皆さんは、毎日、教室で、先生や友だちと伸び伸びと勉強して、美味しい給食を食べています。当たり前のように感じるかもしれませんが、これは、地域の方、そして、この学校を卒業した大勢の皆さんが、少しずつ努力をしてきてくださったおかげなのです。本校のすばらしい伝統を築いてくださった多くの方がたに、一緒に感謝しましょう。そして、家に帰ったら、お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんが通った頃の学校の話聞いてみましょう。

最後に、時計の話にもどります。耳を澄ましてください。カッチン、コッチンと、時計が1秒を刻む音が聞こえますか？【全校で静かに時計の音を聞く】

この時計は、64年間、こうしてカッチンコッチンと時を刻み、本校の歴史をずっと見てきました。初めて給食を食べた子どもたちの様子も、今、皆さんが地域の方にしっかりと挨拶ができるすばらしい伝統をつくっていることも、この時計は知っています。本校の歴史は、こうして、一秒ずつ時間を刻みながらこれからもずっと続いていきます。今年、本校は93年目を迎えます。皆さん一人一人が学校の伝統をつくっています。これからも、皆さんの力ですばらしい伝統をつくっていきましょう。

この古時計は、しばらくの間、校長室前の廊下に置きます。歴史を感じてください。また、昔の学校の写真がのっているアルバムも校長室に置きますので見に来てください。

終わります。